



# 煤ヶ谷駐在所

厚木警察署  
煤ヶ谷駐在所  
編集\*渡部  
Tel 046-223-0110

## 相談窓口の適切な利用と周知

～9月11日は「警察相談の日」～

### 極左暴力集団の根絶と非公然アジト発見にご協力を

極左暴力集団とは、社会主義・共産主義革命を目指し、平和で自由な民主主義社会を暴力で破壊、転覆することを企て、飛翔弾の発射や爆弾を爆発させたりするなどの過激な「テロ、ゲリラ」事件を引き起こしたり、対立する団体や個人に対する調査を目的とした住居侵入、窃盗等の違法行為を組織的に敢行する集団を言います。

警察では、「テロ、ゲリラ」事件を実行する犯人の検挙や、極左暴力集団が潜伏するアジトの摘発に努めています。

こうした極左暴力集団を根絶し、非公然アジトを発見するためには、県民の皆さんのご協力が不可欠です。

#### ◎ 皆さんの周りで

- 偽名でマンションやアパートに住んでいる
  - 部屋への出入りの際、周囲を気にしている
  - 密かに複数の人が出入りしている
  - ことさらに近隣の住民と接しないようにしている
- といった、「変だな?おかしいな?」と思うことがありましたら、最寄りの警察署、交番、駐在所又は極左110番「045-671-0110」にご連絡ください。

◎ 神奈川県警察では、急を要しない事件・事故による被害の未然防止に関する相談や、神奈川県警察に対する要望・意見、苦情等を受け付けています。

◎ 最寄りの警察署（住民相談係）に警察本部の警察総合相談室にご相談ください。

◎ 「110番」にお電話ください。なお、緊急の事件・事故の通報は、9月11日は「警察相談の日」短縮ダイヤル「#9110」にダイヤルすると、神奈川県警察本部の警察総合相談室につながります。

◎ どの相談したらいの?といった困りごとがございましたら、ご利用ください。

※ 短縮ダイヤル「#9110」は、IP電話や一部の電話機からのご利用ができません。携帯電話からかけた場合、通番号のため、携帯電話からかけた場合、受信した基地局によつては、神奈川県警察にかけたつもりでも、警視庁や近県の警察総合相談室につながる場合があります。

【#9110は、相談直通ダイヤル（045-664-9110）でもご利用いただけます。】

## 事件記録板

7月中旬から8月中旬までの事件は、

特殊詐欺、空き巣、侵入盗等の発生はありませんでした。

※ 今回、正しい110番通報という事で相談窓口「#9110」を載せさせていただきました。その理由は、緊急に至らない通報がある事で、本来に必要な緊急な通報が受けられない可能性を危惧しています。またコロナ禍で119番も同様で緊急までは至らない通報も多くあって、助かる命も残念な結果になる事も。どうか正しい通報ご協力をお願い致します。

### 駐在所の独り言

～父親が遺してくれた言葉に感謝～

私の父親は、既に亡くなっていますが、元警察官で捜査一課、機捜隊と捜査一筋で警察人生を全うした訳ですが、当時電機メーカーに勤務していた私を警察に勧めてくれたのが父親です。父親は、今と違って過酷な仕事をしていて、父親が帰宅したお陰でカーに勤務するのが1、2度で、最早家庭は、母子家庭とも言える状態でした。でも母親は専業主婦で、いつも家にいてくれたお陰で美味しいご飯と笑いのある家庭でグレることなく明るく生きて来れたと感謝しています。それに対して父親はどんな仕事をしてたのか、何をしていたのかも知る由もありません。でも警察学校に入校し、授業の中で捜査活動中のスライドに映し出された画像に父親が多く登場するんです。ここで家族の知らないところで苦勞してきたんだと覗いて知ることが出来ました。そして父親が退職を迎え、さぞ満足し警察人生を全うしたと喜びの声があるのかと思いきや、ちょっと違いました。それは、警察の仕事は、使命感や遣り甲斐から仕事に前傾姿勢となるが、家庭があつて仕事が出来ない事を忘れてはダメ。家庭を振り返らず仕事をしてはダメ。一人で気持ちよくなって満足してはダメ。しっかり子育てをして奥さん孝行し、明るい家庭を築くことだ。最早今までの警察人としての反省とも言える言葉の連続でした。私自身、そんな言葉もあり、元々子供好きにだった私は、まずは子育てをしっかりと決意、最初は、子供が興味のある虫や花を観察するため、よく山に出掛けて、その特徴を絵を描いたり、勉強も教えていました。そんな経緯もあって進学校に合格出来ました。でも進学校と言うと競争心が激しく厳しいイメージがあると思いますが、実は逆で妬みや羨み発想自体がなく、子も親も互いのびのび生活し、勉強も互いに教え合い其々皆のために問題解決に尽くすという思考です。例えば最初の父兄懇談会で声を掛けられたのは、都内の国立大医学部研究医の大学教授の奥さんで、仕事柄苦勞もあるでしょう、例えの不調があればいつでも相談してくださいと言われ、また弁護士や会計士の父兄も多数いて、困った事があれば助け合いました。うと心強い言葉も頂きました。中には官僚もいました。肩書ではなく人として本当に尊敬される人ばかりで、長男も私も人脈から高度な学びを楽しんで過ごせました。その甲斐があつて半導体の研究職に就き、結婚もして、米国のアップル社から度々技術支援を求められ渡米する事があります。そこで残された医療事務に就く娘は、30歳になるのに結婚の予定がないと不安に思っていたところ婚活半年でこうした縁から結婚に結び付けました。相手の方は、海外生活が長い帰国子女で、その為か外資系経営コンサルト会社で窮地の企業に頭脳支援し、企業を立て直すという遣り甲斐のある仕事についています。人生は前向きな環境に身を置く事で前向きな人との出会い、幸運が訪れると父から教えられた気がします。人生の先輩である両親や周りで支えてく方々に感謝です。